

教育センターニュース

ミネルバ

111号

佐賀県教育センター <http://www.saga-ed.jp/>
〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上
Tel 0952-62-5211 Fax 0952-62-6404

特集記事

- 所長あいさつ
- 今年度の講座紹介
- 教育センターの研究成果を公開しています
- 教育センター知っ得情報



「確かな教育実践に向けて」

所長 岡 陽子



4月も半ばを過ぎ、校庭の木々の緑がまぶしい季節になりました。各学校の教育活動も軌道に乗っているところだと思います。

この3月に高等学校及び特別支援学校の新学習指導要領が告示され、教育内容の改善に必要な初等中等教育の全体像が明らかになりました。また、小中学校においては、新学習指導要領への移行期間を迎え、改訂の趣旨を踏まえながら、各学校で新しい教育課程の編成が進められていることだと思います。改めて知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力をはぐくむための学習活動や言語活動の充実についても、具体的な取り組みを進めたいものです。

平成20年度の佐賀県小・中学校学習状況調査結果の分析においては、「“活用”する力が注目され、その取り組みが進む一方、その基盤となる知識については、理解を伴った“習得”がなされるような取り組みを行うとともに、これらをバランスよく、相互に関連付けた指導が必要である」と概観しました。各学校では、報道などを通して接する様々な情報の中で強調された言葉にのみとらわれることなく、こうしたバランスという視点から実践を振り返り、指導法の改善に生かしていただければ幸いです。

また、今年度は、「教員免許更新制」も本格的にスタートします。本県では、この時期に合わせて、研修体系を全体的に見直しました。具体的には、ライフステージの早い段階において実践的力量の向上を図るため、これまでの若手教員基礎研修と5年経験者研修を3年経験者研修として統合一本化します。これには免許更新講習の時期との重なりをなるべく避けるというねらいもあります。さらに、新たな教育課題に対応し、ライフステージに応じた研修内容の更新を図るために、初任者研修及び10年経験者研修については内容を一部変更します。

教育センターでは、これらの動きに呼応して、今年度も教職員の資質向上を目指し、実践的指導力の充実を図る研修を準備しています。特に、昨年度好評であった「出前講座」を拡充し、全校種で課題となっている教育相談や特別支援教育を新設しました。ご活用ください。

これからも、現場のニーズや時代の流れに迅速かつ柔軟に対応し、先生方の確かな教育実践に向けて共に考え、信頼される教育センターとして尽力します。

今年度もよろしくお願いします。



「ミネルバ」はローマ神話に由来する学問・知恵を司る女神の名前です。女神の連れているフクロウは知恵の象徴だと言われています。時代が転換していく状況の中で英知をもって飛躍し、そこから新しい時代を切り拓く願いが込められています。



今年度の講座紹介

教育センターでは多彩な講座を用意して先生方をお待ちしています。今年度、新設した講座や出前講座、公開講座を紹介します。詳細は「専門研修受講者募集」のポスターをご覧ください。

○ 専門研修

先生方の要望に応え、1日講座を大幅に増やしました。新学習指導要領にも対応した最新の情報や明日から使える情報を用意しています。

新設講座

実験化学講座(小・中・高のつながりを意識した授業を考える)

8月11日(火)

化学の実験を通して、小・中・高のつながりを意識した授業づくりが分かります。また、他校種の授業の工夫を自分の授業に生かすポイントについて学ぶことができます。

中・高国語科講座(表現力をはぐくむ言語活動の在り方)

9月17日(木)

国語科教育における中高の連続性を踏まえた表現力育成のポイントが分かります。また、表現力をはぐくむ言語活動について学ぶことができます。

いじめ問題の対応と予防講座

7月7日(火)

いじめ問題に対する基本的理解を深めます。また、ネット上のいじめ問題等に関する生徒指導上の具体的な対応や予防の方法について学ぶことができます。

子どもの成長を共に考える保護者との関係づくり講座

8月27日(木)

子どもの成長を保護者と共に考えるための信頼関係づくりを目指し、保護者への共感的理解とよりよいかかわり方が分かります。また、ケースに基づいた具体的な保護者とのかかわり方も学ぶことができます。

○ 出前講座

出前講座は、6月下旬から8月上旬にかけて、神埼会場、唐津会場、武雄会場で行われます。14時開始となり、さらに受講しやすくなりました。また、新しい出前講座も増えました。



新設出前講座

出前講座：学習状況調査の分析・活用(自校データを生かす分析ツールの活用法)

「マニュアルを読んだがうまくできない」という方でも、諸調査集計・分析システムから県学習状況調査の自校データを取り出し、分析ツールで加工することにより、分析の視点や活用の方法を実際にパソコンを使いながら身に付けることができます。

出前講座：教育相談(心に聴くカウンセリング)

子どもや保護者の思いを共感的に理解し支援するために、聴くことの体験を通して、カウンセリングの考え方や技法を生かしたかかわり方について学ぶことができます。

出前講座：特別支援教育(発達障害のある児童生徒の支援計画づくり)

発達障害のある児童生徒の具体的な支援の在り方について、講義や協議を通して深めていきます。具体的な事例を通して、一人一人の特性に応じた支援や学級全体の子どもたちに使える支援などについて学ぶことができます。

○ 公開講座 (専門研修の受講者以外でも広く聴講ができる半日の講座です。)

今年度も全国の著名な講師をお招きしています。



発達障害のある子どものために明日からできること講座

6月9日(火)午後 メートプラザ佐賀

明日から取り組める一人一人の特性に応じた支援

教育ジャーナリスト 品川 裕香

「Q-U」を活用した開発的カウンセリング講座

7月24日(金)午前 教育センター

「Q-U」の見方と活用について

奈良教育大学大学院教育学研究科 准教授 粕谷 貴志

小・中学校総合的な学習の時間講座

7月24日(金)午後 教育センター

子どもの学びを深める総合的な学習の時間の探究的な活動とは!

福岡市博物館 事業管理部長 野口 徹

中・高英語科講座

8月11日(火)午後 教育センター

これから求められる英語教育 ―自己表現力を付ける英語の授業―

京都外国語大学英米語学科 教授 斎藤 栄二

子どもの成長を共に考える保護者との関係づくり講座

8月27日(木)午後 教育センター

ケースに基づいた具体的な保護者とのかかわり方

東京都立川市立立川第一中学校 校長 嶋崎 政男



教育センターでは、研究調査事業として、佐賀県教育課題を解決するための「プロジェクト研究」と教科・領域等の「個別実践研究」という2つの研究に取り組みました。研究成果の詳細については教育センターWeb ページ (<http://www.saga-ed.jp/>) で発信しています。ぜひ学校での教育活動にお役立てください。

プロジェクト研究

■ キャリア教育研究委員会

道徳の時間、特別活動、総合的な学習の時間をキャリア教育の視点で関連付けることにより、児童生徒のキャリア発達を支援することをねらいとして研究に取り組みました。小・中・高の系統性と体験活動を軸として構想した大単元と、各学校や学年等でキャリア教育に取り組む際の手引きとなる内容の2つを提案しています。



■ 児童生徒が安心できる人間関係づくり研究委員会 [Web-Download](#)



学校生活の中で児童生徒が心理的に安心して過ごすためには、居心地のよい人間関係をはぐくむことや自己存在感を感じることが大切であると考え、研究に取り組みました。集団の状態を簡単に把握することができる「がばいシート」とそのシートから得られた結果を支援に結び付けるための手立てについて提案しています。「がばいシート」は教育センターWeb ページからダウンロードでき、各学校・学級ですぐにでも使えるようになっています。

■ 小中連携を図る特別支援教育の在り方研究委員会(平成 21 年度継続) [Web-Download](#)

発達障害等により配慮を必要としている児童生徒を中心として、だれもが学びやすい学習環境づくりについての研究に取り組みました。生徒や教師に対する調査から見てきた小中連携における課題などを明らかにしています。中学1年生を対象とした生活・学習アンケートも教育センターWeb ページからダウンロードして利用できます。



■ 活用力に培う国語科学習研究委員会(平成 21 年度継続)

活用力を「習得した知識・技能を条件に応じて使う力」と定義付け、活用力をはぐくむことで、知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力の育成をねらうことを目指して研究に取り組みました。学習内容の系統化を図り、習得した知識や技能を活用する言語活動を位置付けた授業づくりのポイントを提案しています。

■ 確かな学力をはぐくむ社会科学習の在り方研究委員会(平成 21 年度継続)

社会的な価値までを意識した社会的なものの見方・考え方を「社会についての見方・考え方」と定義し、社会的な価値についての意識を促すような社会科学習の在り方の研究に取り組みました。意思決定型の学習を取り入れた授業を通して、社会についての見方・考え方を養うことができる授業の進め方を提案しています。



■ 表現力の基礎を養う英語科学習指導の工夫研究委員会(平成 21 年度継続)

新しい学習指導要領の趣旨を受けて、4技能「聞く・話す・読む・書く」を関連付けた指導方法についての研究に取り組みました。「書く活動」の意義について再確認し、「書くこと」を「聞くこと」「話すこと」「読むこと」と関連付けて言語活動の充実を図りました。4技能を関連付けた言語活動例を基にした授業について提案しています。

個別実践研究

■ 生活科・総合的な学習の時間

言語の活用を重視した学習活動を通して、児童の問題解決の力をはぐくむための研究に取り組みました。生活科では気付きの質を高めるための振り返り活動の在り方について提案しています。総合的な学習の時間(小学校)では、環境問題を取り上げ、問題解決の各段階における言語活動の工夫について提案しています。



■ 家庭科(食育)



平成 18 年度に教育センターで取り組んだ食育についてのプロジェクト研究をベースにして、中学校の技術・家庭科(家庭分野)と高等学校家庭科(家庭基礎)における食育指導の在り方についての研究に取り組みました。中学校と高等学校の系統性も視野に入れ、実践的・体験的な学習活動の充実を図り、学んだことを生かす場の設定を工夫した授業を提案しています。

■ 図画工作科・美術科 [Web-Download](#)

立体作品の制作において、ICTとワークシートを活用して対象を立体的にとらえる力を養う指導法についての研究に取り組みました。図画工作科では、スポンジを素材にした立体作品の制作を提案しています。美術科では、木彫に取り組む際に役に立つプレゼンテーションデータを提案しています。題材全体を見通したワークシートが教育センターWeb ページからダウンロードできます。





教育センター

知っ得情報



4月21～22日実施

Information

佐賀県小・中学校学習状況調査「分析ツール」を提供します！

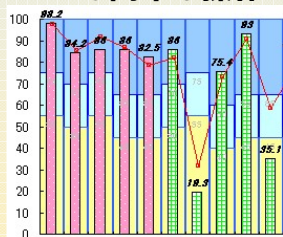
～小学校5年生、中学校1・2年生対象の調査結果から見える授業改善に向けて～

○ ツールを使うことによって、学年やクラスの現状が把握できます。

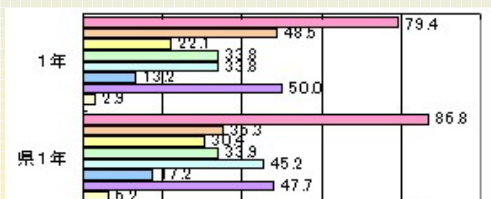
現在の学習内容の定着状況を、各教科の観点ごと、領域ごと、設問ごとにグラフで表示します。各教科の強みと弱みなどの状況を視覚的に把握することができます。

また、意識調査の結果もグラフで表示します。子どもたちの学習状況や生活状況、各教科に関する意識などを把握することにより、今後の指導に役立てることができます。

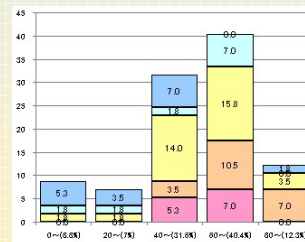
○ ツールは簡単な操作でグラフや表を生成します。



観点・領域・設問ごとにグラフ化



意識調査の集計結果



正答率と意識調査のクロス集計

○ 入力の締め切り(6月4日)の翌日にはツールを使うことができます。

使い方・サンプルのページ → <http://www.saga-ed.jp/kenkyu/gakuryoku/tool/tool.htm>

※ 分析ツールは、「諸調査集計・分析システム」からダウンロードできます。

第10回教育実践交流会

去る2月17日(火)、第10回佐賀県教育センター「教育実践交流会」を開催いたしました。今回は31の分科会やワークショップに、総勢286名の先生方の参会を得ることができました。

今年度の教育実践交流会は、平成22年2月18日(木)に開催予定です。多彩で実践的な分科会を用意し、皆様の参加をお待ちしております。



参加者の声

- いい交流会だったので、もっとたくさん参加してほしい。
- 外国語活動の分科会では、普段から悩んでいることに対してのヒントになることをたくさん得られた。
- 図工・美術科の分科会は、理論的・実践のおみやげ付きで、とても充実していた。
- 交流Ⅳだけの参加もOKだったので、授業を終えてセンターの研修を受けることができ、大変有意義な1日だった。

教育論文・教育情報コンテンツ入賞者

教育実践交流会の開会式において、平成20年度の教育論文・教育情報コンテンツの入賞者を表彰しました。右は入賞者の先生方です。審査結果及び受賞された作品は教育センターWebページにアップしています。今年度も先生方のチャレンジをお待ちしております。



佐賀県教育センター

・教育論文・教育情報コンテンツ募集
集入賞作品